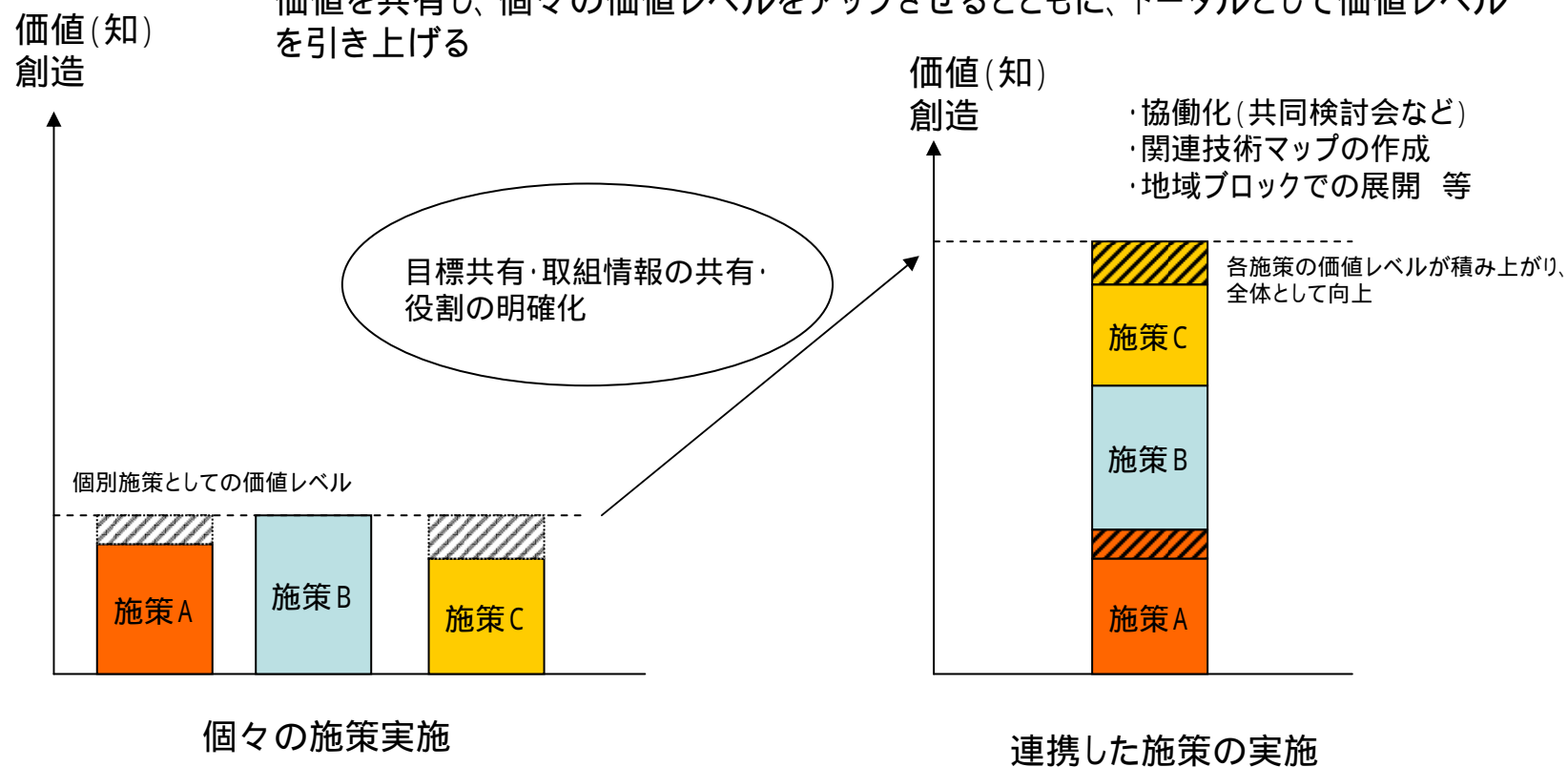


連携により期待される価値創造について(イメージ)

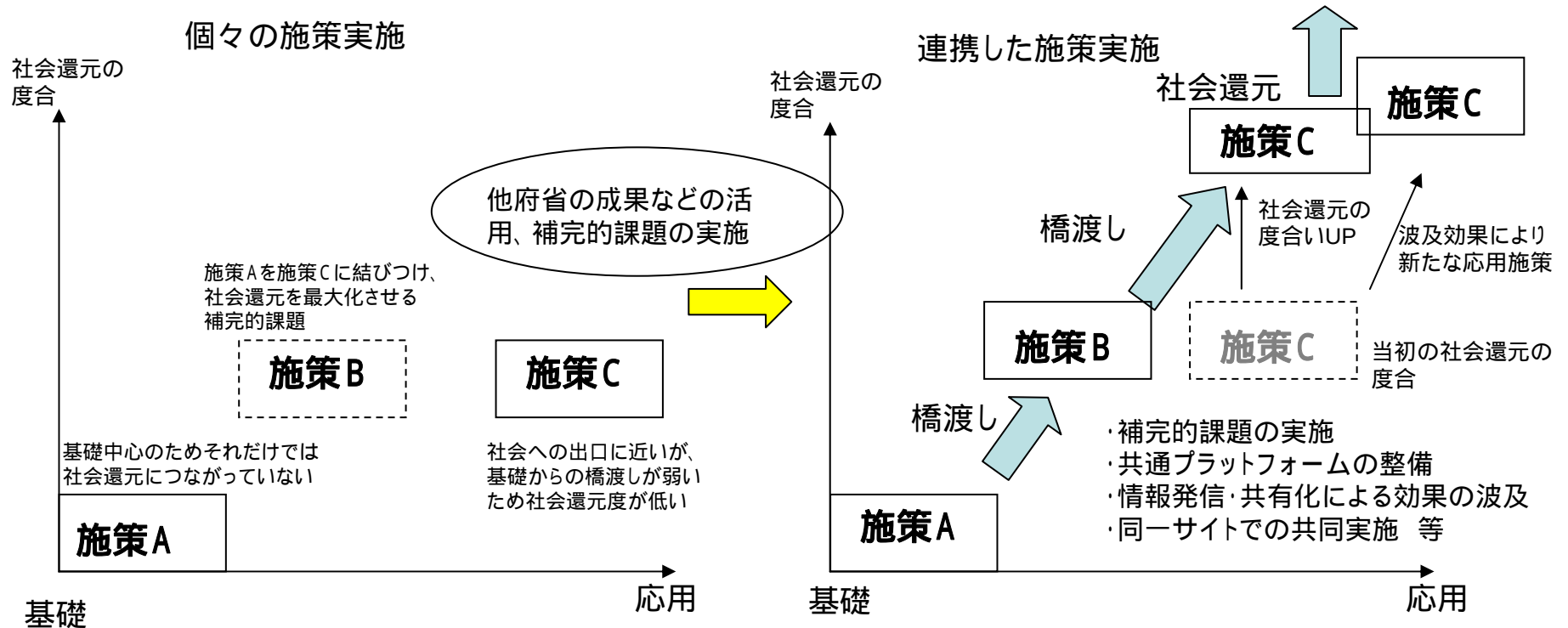
パターン : 協働化の進展によるシナジー効果

個々の価値を有する(目的とする)施策を、連携施策としてコーディネートすることで、価値を共有し、個々の価値レベルをアップさせるとともに、トータルとして価値レベルを引き上げる



パターン ①：知の源から結実までの一貫した流れ

各施策の橋渡しや、補完的課題の実施などにより、基礎から応用、事業化までの
シームレスな流れを創り上げるとともに、波及効果が生じる



パターン : 価値創造の加速化

